

はちぶせやま
鉢伏山



観光、レジャーも

鉢伏山は、ふるさと兵庫50山や「関西西百名山」に選出されるなど、地域との関わりも深い山です。そのほか、南側にハチ高原、北側にハチ北高原、西側に美方高原が広がり、スキー、パラグライダー、キャンプ、登山など、アウトドアを楽しめるレジャー地に囲まれています。

また、周辺にはトチノキが群生する「大笹のトチノキ」や、昇龍の滝など、観光スポットも点在しています。鉢伏山祭典の後、五月晴れのもと、こうした名所を巡るのもいいかもしれませんね。



これまで、大本にゆかりのある霊山・霊地をいくつか紹介させていただきましたが、今回は、兵庫県北部にある鉢伏山をご紹介します。霊山であるだけでなく、その地域の名山としても名を連ねる鉢伏山。大本とはどのような関わりがあるのでしょうか。ご説明いたします。



みろく博士

大本本部

綾部・梅松苑 綾部祭祀センター
〒623-0036
京都府綾部市本宮町1-1 梅松苑 / TEL 0773 (42) 0187

亀岡・天恩郷 亀岡宣教センター
〒621-8686
京都府亀岡市天恩郷 / TEL 0771 (22) 5561

東京本部 東京宣教センター
〒110-0008
東京都台東区池之端 2-1-44 / TEL 03 (3821) 3701

大本ホームページ <http://www.oomoto.or.jp/>



<連絡先>



霊山・鉢伏山とは

鉢伏山は、兵庫県養父市と美方郡香美町の市町境にある標高1221mの霊山です。長く但馬、因幡、美作、播磨とその裾を引き、谷を挟んだ南側には、兵庫県最高峰となる氷ノ山を望むことができます。兵庫県、岡山県、鳥取県にまたがる氷ノ山後山那岐山国定公園に属する山の一つです。

この鉢伏山について、大本の教祖の一人、聖師・出口王仁三郎（大本いろはNo.20参照）は、「主の大神さまが鎮まり、八力の大神ととなえ、お山全体がご神体である」と示しています。



鉢伏山開き

昭和21年5月22日、王仁三郎と二代教主・出口すみこは、島根県にある出雲大社に参拝の帰途、龍宮神社（香美町岡区大笹）に参拝しました。翌23日には、当時、兵庫県朝来市の竹田に居住していた三代教主・出口直日も合流し、鉢伏山に登山。当時は、トチ、ケヤキ、ヤナギなど、老樹の生い茂った原生林で、道なき道を行く困難な登山となりましたが、山頂では、鉢伏山開きの祭典が厳かに執行されました。

昭和40年5月15日、山頂のみろく岩の前に「石の宮」が建立され、同月23日、三代教主臨席のもと、開山20周年記念参拝が行われました。

開山した日を記念し、毎年5月23日に鉢伏山祭典が行われていましたが、平成21年からは、より多くの信徒が参拝しやすいようにと、5月の第4日曜日に祭典日に変更されました。なお、祭典前日には、龍宮神社祭典が、現地で執行されています。



鉢伏山祭典

- 毎年5月の第4日曜日、午前10時30分から山上の「石の宮」において、鉢伏山祭典が行われます。5月のさわやかな天候のもと執行されるすがすがしい祭典に、参拝者も心洗われるひとときとなります。



龍宮神社祭典

● 鉢伏山祭典の前日、午後4時から執行されます。経済をつかさどり、財宝を授ける「竜宮の乙姫」さまへ、感謝とご守護を祈願申し上げますお祭りです。



竜宮岩

- 竜宮の乙姫さまが鎮まっておられる岩です。祭典後、岩肌に触れご守護をお願いする参拝者も多くあります。

